

趣味イキイキ楽々♪

当院患者様であるK・Mさんに手芸のお話しをお聞き致しました。

現在80歳代であり、若い頃には商船学校をご卒業し8万6千tの船の船長さんをされていて現在でも英語が堪能であり、そんな壮大な仕事をされていた方が、現在では手芸を趣味にされているとのこと!その内の一つである匂い袋のお話しをお聞き致しました。

匂い袋の中身の材料ですが、ご自宅で栽培したラベンダーを3日間陰干しにし、紙に包み出来上がりだそうです。匂い袋はホームセンターや、手芸店で生地を購入し手縫いで作製されるとのこと。全て手間暇かけいくつもの工程を重ね出来ていく匂い袋は全て素敵でまるで大切な子供さんのようでした。



きっかけは、豊園でお勤めされていた女性から祇園の匂い袋を頂いたことだったそうです。ご自分でカトレアや欄などの栽培をすることでイキイキとし、次の作品を考えると楽しくなるそうです。ご自宅でラベンダーを栽培されているお庭には、気づけば自然に桔梗(キキョウ)やオニコリ・ササコリが咲いているそうです。山で採取したイカリソウを一緒に植えたよとおっしゃる目がキラキラされていて素敵でした。機会があれば一度拝見してみたいです。そして幾つもの作品を手がけ無限のアイディアを出されていられるK・Mさんとのお話しは白檀(ビャクダン)などのほのかな香りの中でお話しをリラックスしてお聞きできて良かったです。有難うございました。(インタビュー: 受付・西山)

第2回合同お誕生日会



6月27日(木)、4月～6月生まれの2人&院長のお誕生日会は、前回好評だった神戸迎賓館須磨離宮・ルアンで再び催しました。ランチタイム、料理が美味しい、医院に近いの三拍子が揃ったこともあってか、今回も参加率がとても高く、主催者としては嬉しい限りです。また、何と偶然にもこの日お誕生日を迎えるスタッフもおられました。ホール係の方が音頭を取って下さり、みんなでハッピーバースデーを合唱♪ さらに主役の3人には、お誕生日記念プレートのサービス。54歳のオッサン街道ばく進中の院長ですが、何歳になっても嬉しいもんです。今回もお洒落な料理で美味しかったし、素敵なひとときを過ごせて満足、満足。第3回目もここで催す予定です(苦笑)。皆さん、ありがとうございました。



やっば虎が好っきゃねん①

患者さんから「先生、阪神ファン?」とよく訊ねられます。奥の検査室に阪神タイガースのユニフォームを飾っているから当然かな(苦笑)。高校・大学時代は倉敷で学生生活を送っていたので、阪神戦の野球中継を見る機会も少なく、何となあ～く阪神ファンって感じ。昭和60年、僕は兵庫医大の研修医。甲子園球場近くのアパートに住むようになってから阪神ファンとしての熱き血潮が再び疼き出したのです。窓を開ければ、甲子園球場からの大声援が聞こえてきます。居ても立っても居られない。球場には、結構足を運びました。この年、

まさに日本列島虎フィ～バ～!!4月17日の対巨人戦では、バース・掛布・岡田の夢のバックスクリーン3連発!!何度見ても痛快。何度見ても痺れます。何度見ても鳥肌立ちちゃいます。10月16日、神宮球場で中西投手が最後の打者をピッチャーゴロに打ち取り、引き分けで21年ぶりの優勝!!さらに西武を破り、球団史上初めての日本一!!日本一の感動を再び味わいたい。。



親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

瞳きらきら通信

Tel 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2013
秋
vol.10



院長ごあいさつ IOCのロゲ会長が「TOKYO」と読み上げた瞬間、関係者や選手たちの喜びが爆発。フェンシングの太田雄貴選手が渾身のガッツポーズをした後の感涙にこちらもらい泣き。3都市共に長所と短所を持ち合わせ、招致レースが混戦となるなか、勝敗を分けたのは最後のプレゼンテーションとされています。ライブで視聴することが出来なかったので、ネットの動画でチェック。"チームジャパン"のプレゼンは、心に訴えるものが多く 本当に素敵で素晴らしかったです。プレゼンターの表情は爽やかで自信に満ち溢れ、声のトーンも明るく、身振り手振りを交えて、それぞれの思いがビシバシと伝わってきました。プロモーションビデオも見ていただけで「東京に行ってみたい!!」と思わせるような視覚的な効果も抜群。



院長 梶川大介

中でも、「私がここにいるのは、スポーツによって救われたからです!!」と切り出した気仙沼市出身で、パラリンピックに3大会連続で出場した佐藤真海選手のプレゼンは最も心に響きました。19歳という若さで骨肉腫のため右足を切断し、絶望した自らの体験を披露。陸上を再び始め、自分で目標を決め、それを越える事に喜びを感じ、新しい自信が生まれました。さらに「自分にとって大切なのは自分が持っているもので、自分が失ったものではない」ということも学んだそうです。本当に辛かったと思います。それを乗り越えることが出来たのは、仲間の励ましとスポーツ用義足があったから。どんな状況においても前向きに自分と向き合う彼女の姿に頭が下がります。故郷が被災したときも、国内外から多くのアスリートたちが被災地に足を運び、スポーツには「新たな夢と笑顔を育む力」「希望をもたらす力」「人々を結びつける力」など真の力を目の当たりにしたのです。終始、素敵な笑顔で呼び掛けてくれた佐藤真海選手のプレゼンに拍手、拍手。

長い間にわたって閉塞感が漂う日本ですが、2020年東京五輪という目標に向かうことが決まった今、プラス思考してみると「日本の自信や誇りを取り戻すチャンス」「日本を元気にするチャンス」「東北を元気にするチャンス」「日本の子供たちに夢や希望を与えるチャンス」「日本古来の"おもてなし(ホスピタリティ)"を世界に知って貰うチャンス」「多くの課題を克服し、大きく成長できるチャンス」などなど。今回のプレゼンで日本は国際世論に明確な「約束」を致しました。課題は山積していますが、どう行動に移していくのか。安倍総理大臣のリーダーシップに期待するところ大です。まずは、今の自分に出来ることをしっかりと取り組みます。

コラム数珠つなぎ

今回は、看護師・澤下がお届けします!



この夏、ミステリーツアーに参加しました。一緒に参加したのは、地域のママさんバレーボールの仲間です。友人達との旅行は初めてで、出発前からワクワク、テンション↑↑出発当日は、あいにくの雨でしたが自称『晴れ女』のGさんのパワーで途中から雨も上がり、出石で皿そばを食し、地ビール(グラス1杯100円)でのどを潤し一路天橋立へ。そちらも太陽燦々・・・早めに宿入りし、温泉で癒され、ボリューム満点の夕食で癒され、夜は女子トークで大いに盛り上がりしました。2日目も晴れ女パワーは続き、福井県へ。敦賀で海鮮丼を食べ、そこから帰路へ。ミステリーツアーなので目的地に近づくまで知らされず、自分達で予想しながらなのでワクワク・ドキドキは最後まで続きました。今回の友人との旅で、多くを語らい楽しい体験を共にしたことで、より一層絆を深めることができた旅の楽しさが倍増しました。夏の疲れやストレスも吹き飛び、極上の癒しの休日となりました♡



逆まつ毛(さかさまつげ)とは？

《逆まつ毛(さかさまつげ)とは？》

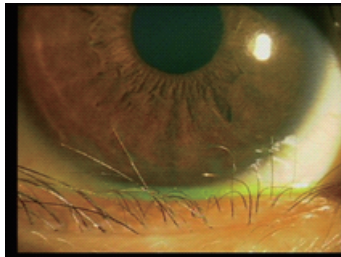
まつ毛が、何らかの原因によって眼球に向いて生えている状態のこと。



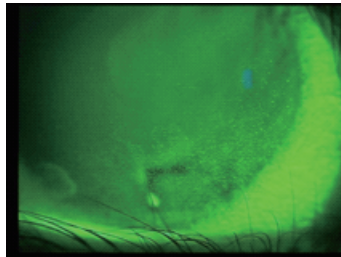
原因は？

まつ毛が、眼球方向に向く原因には2つあります。

《睫毛乱生症(しょうもうらんせいしょう)》
まぶたには問題がないのですが、毛根からのまつ毛の生え方が不規則で角膜(黒目)の方に向いています。眼瞼縁炎などまつ毛の毛根部の炎症によって引き起こされることが多く、角膜に当たるまつ毛の数は1本だけの場合から多数の場合まで様々です。



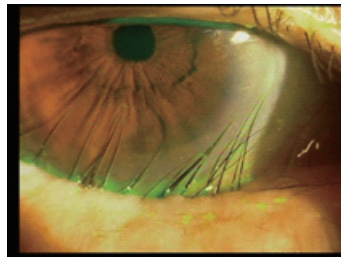
下数本の睫毛が角膜に当たり、キズを認めます。



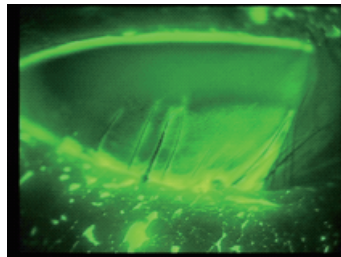
《眼瞼内反症(がんけんないはんしょう)》
まぶたの縁が、カールして眼球側にまくれ込んでしまい、ひと並びのまつ毛全体が角膜方向に向くので、多くのまつ毛が角膜に当たります。

*先天性：皮膚や皮下脂肪が過剰なためまぶたが膨らみ、まつ毛の生える方向が内向きになることが多いです。

*老人性：老化でまぶたの皮膚がたるんだり、皮下の筋肉の筋力低下などによるものです。



下のまぶたとまつ毛全体が眼球側にまくれ込んでいます。



症状は？

*乳幼児：①瞬目過剰(いつもパチパチとまばたきが異常に多い)、②羞明(光を異常にまぶしがり目を細める)、③結膜充血(目が赤い)、④眼脂、⑤流涙(ウルウルとした涙目)など。

*小児・成人：上記の症状に加えて①異物感(ゴロゴロした感じ)、②痛みなど。

治療は？

《睫毛乱生症》

まつ毛を抜くと一時的に症状は改善しますが、2～3週間もするとまつ毛がまた生えて来るので同じ症状を繰り返します。抜く本数が少なくても、何度も繰り返せば角膜や結膜の炎症を引き起こしてくる場合もあります。症状が強い際には手術が必要で、睫毛電気分解(まつ毛の毛根を電気の針で焼く)や眼瞼内反症の手術に準じた手術などが行われます。

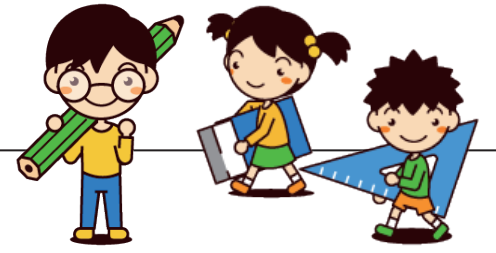
《眼瞼内反症》

*先天性：成長とともに1歳前後で自然に治ることが多いので、それまでは抗生剤の点眼や角膜保護剤などで様子を見るのが普通です。3歳頃まで様子を見て治らない場合、症状が強かったり、角膜の乱視が強くなり視力への影響が心配される際には手術を考えます。

*老人性：まつ毛を抜くと一時的に症状は改善しますが、またまつ毛が生えると同じことの繰り返しになります。また、まつ毛を抜く際の苦痛も決して軽くはありません。症状が強い際には、手術して治すほうが効果的です。

◎いずれの病気の場合にも、手術を希望される際には、眼瞼専門の医療機関へご紹介を致しております。

発見！大人の社会科見学



～石垣島発・大好物マンゴー～

今年の夏休み、娘と二人で大好きな石垣島を訪れ、滞在中にいつもお世話になっているマンゴー農園に行って来ました。

昔、ある青年が、マンゴーの樹の下に見たことのない果実が落ちているのを見つけました。

果実の半分は、すでに天然記念物である亀に食べられていて、その食べ残しをガブリ！！

余りの美味しさにめっちゃ感動！！この時の感動を伝えたくて、マンゴーを作ることになったそうです。

離島農業の宿命である日照りにも負けず、水不足にも負けず、台風にも負けず様々な難題と闘い三組の夫婦が25年もの歳月をかけて“ポトリ果”マンゴーを完成させました。

外国から輸入されてくるマンゴーは、消毒しないと国内に持ち込むことが出来ず、そのため7

～8分の熟成で収穫することになるので、熱帯果樹の本当の美味しさが日本には届きません。

日本の南端に位置する石垣島において完全なる樹上完熟にて栽培される“ポトリ果”マンゴー。このマンゴーの特徴は、樹上で完熟させて果実袋の中に自然に落として収穫をします。

「ポトリ。。。」と樹から落ちて2～3日目、一番食べ頃になります。その日に合わせて

お客様に届くよう宅急便で届けてくださるので、もの凄く美味しい訳です。一度食べたら

病み付きで、僕の大好きです。

ご主人・奥様・息子さんとお話をする機会がありましたが、とっても素敵なファミリーで

みんないつもニコニコ最幸の笑顔。お客さんにとにかく美味しいマンゴーを食べて欲しいとい

うご主人の熱い思いがビシバシ伝わってきます。マンゴー栽培へのこだわりが半端ないです。

ご主人の生きざまを垣間見たような気がします。

「情熱」「あきらめない」「向上心」「仕事を楽しむ」などなど。

僕も見習いたいと思うことがいっぱいでした。

